

選考審査事例の紹介

- ◎認定NPO法人 まちぽっと
- ◎草の根活動助成事業
- ◎領域・分野は特に問わない
- ◎2019年度～ 2022年度
- ◎1年200万円×3年間（600万円）

●公募スケジュール

2019年

12月20日 公募開始・公募説明会の開催

2020年

1月20日 公募〆切

・・・申請28団体

2月3日・6日 書類選考審査会（委員6名）

・・・15団体

3月23日 選考審査会・実行団体内定

・・・10団体

● 公開選考審査

（草の根市民基金・ぐらん、ソーシャルジャスティス基金（SJF）の経験から）

➤ 方式

- ・ プレゼンテーション及び選考審査委員との質疑応答は公開で実施
- ・ 選考審査委員による選考審査は非公開

➤ 目的・メリット

- ・ プレゼンにより事業内容の詳細や重要度、本気度などを知ること（申請書では見ないこと）
- ・ 申請団体間で事業計画の共有化がされる
- ・ 選考審査委員の緊張感が高まる

⇒公開、公平・公正、社会的二一ズ、優先

● プレゼンテーション

- 15団体を5つのグループに
- 1グループ3団体が7分以内のプレゼンを行う
- その後に審査委員との10分弱の質疑応答を実施
- プレゼンのポイント3点
 - ① 事業の背景となる社会課題
(ニーズや既存の取組等)
 - ② 助成を受ける事業内容
(①にどう取組むのかまたその先進性
・革新性)
 - ③ 事業の結果期待できるもの

● 一般「非」公開で開催

（申請団体へのお知らせより）

3月23日は公開選考審査会とすべく準備を重ねておりましたが、以前新型コロナウイルスの感染者数は下降しておらず、認定NPO法人まちぽっと内で検討した結果、残念ではありますが、一般の方には公開せずに開催することと決定いたしました。当日は、書類通過団体の皆様、また認定NPO法人まちぽっと、休眠預金事業の関係者のみで開催いたします。

● Pecs選考審査会 進行スケジュール

時 間	内 容
13:30 - 13:35	開会、進行等の説明
13:35 - 14:10	Group A 3 団体プレゼンテーション、質疑応答、(グループ入替)
14:10 - 14:45	Group B 3 団体プレゼンテーション、質疑応答、(グループ入替)
14:45 - 15:20	Group C 3 団体プレゼンテーション、質疑応答、※休憩のご案内
10 分間程度	休 憩
15:30 - 16:05	Group D 3 団体プレゼンテーション、質疑応答、(グループ入替)
16:05 - 16:40	Group E 3 団体プレゼンテーション、質疑応答、(グループ入替)
16:45 - 17:25	選考審査委員 6 名による非公開審査
17:25 - 17:30	選考審査結果の発表
17:30	終了・閉会 (延長の場合あり)





全国女性シェルター
1998年設立
北海道から沖縄まで約7
000のシェルターなどを運営
民間団体の全国ネットワ

100







● 選考審査・点数表

発表順	団体名	事業名	上村	加藤	橘高	土谷	堀越	水口	計
E-1			4	3	5	4	5	5	26
B-3			4	5	5	3	5	3	25
A-1			4	4	4	3	5	5	25
E-2			3	4	4	4	5	5	25
B-1			3	4	4	3	5	5	24
D-2			4	4	5	4	4	3	24
A-2			4	4	3	4	5	3	23
B-2			4	4	3	2	5	5	23
D-3			3	4	4	4	4	3	22
C-2			3	5	3	3	4	4	22
C-3			2	4	3	4	5	3	21
C-1			3	4	3	4	4	3	21
D-1			2	5	2	2	4	5	20
E-3			3	3	3	3	4	3	19
A-3			3	3	3	2	4	3	18

● Pecs選考審査委員

上村 英明	恵泉女学園大学教授
	市民外交センター共同代表、日本平和学会理事、ソーシャルジャスティス基金運営委員会委員長
加藤 俊也	会計士
	認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク理事、全国NPOバンク連絡会理事、杉並区NPO等活動推進協議会委員、NPO法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京監事、荻窪地域区民センター協議会会計監事、一般社団天然住宅監事、株式会社ソノリテ監査役、株式会社アイティ・アシスト監査役
橘高 真佐美	弁護士
	LAWASIA、外国人ローヤリングネットワーク、東京弁護士会外国人の権利に関する委員会、日本弁護士連合会ハーグ条約ワーキンググループ、エコアクション21判定委員会委員、町田市情報公開・個人情報保護審査会委員、パルシステム環境監査委員、オーフス条約を日本で実現するネットワーク運営委員、ダイオキシン環境ホルモン対策国民会議理事、特定非営利活動法人 ウィメンズアイ 理事
土谷 雅美	生活クラブ東京前理事長
	生活クラブ共済事業連合生活協同組合連合会政策企画部福祉政策担当、生活クラブ子育てひろばぶらんこ町田施設長
堀越 栄子	日本女子大名誉教授
	さいたま市男女共同参画推進協議会委員、著書（共著、編著）に『生活を豊かにする労働の発見』『総合介護条例の作り方』『立法の実務と理論』『福祉環境と生活経営―福祉ミックス時代の自立と共同―』『新版 社会政策を学ぶ人のために』『現代の家庭と生活経営』『現代の生活経済』『暮らしをつくりかえる生活経営力』など
水口 剛	高崎経済大学経済学部教授
	環境省・グリーンボンドに関する検討会座長、ESG金融懇談会委員等を歴任。主な著書に『ESG投資―新しい資本主義のかたち』（日本経済新聞出版社）、『責任ある投資―資金の流れで未来を変える』（岩波書店）、『サステナブルファイナンスの時代―ESG/SDGsと債券市場』（編著、きんざい）など

● Pecs実行団体

1 埼玉県西部)「地域資源をしごとにする!」担い手育成3か年計画

エコ・コミュニケーションセンター (ECOM) 東京都豊島区

2 川崎市中原区の一軒家型コミュニティスペース「くるみのうち」運営

くるみ—来未 神奈川県川崎市

3 フリースクール「あおもりサニーヒル」運営事業

コミュサーあおもり 青森県青森市

4 新生児家庭を育む「新生児ファミリーミニステイ」実現のためのプラットフォームづくり

びーのびーの 神奈川県横浜市

5 子どもがつくる次世代型町内会

フリースクール木のねっこ 広島県廿日市市

6 プロの芸術家による表現ワークショップを通じた当事者の交流及び共同創作事業

芸術家と子どもたち 東京都豊島区

7 「女性に対する暴力」専門相談支援者育成事業

全国女性シェルターネット 東京都

8 児童養護施設との里山開拓活動とそれを支える企業向け里山研修事業

東京里山開拓団 東京都世田谷区

9 小さなものづくりから始まる「しごとはじめ」×「誰でも学べる寺子屋」で、社会とのつながりに苦しさを抱える人たちに安心を

栃木県若年者支援機構 栃木県宇都宮市

10 市民社会の調査・発信力強化プロジェクト

ワセダクロニクル 東京都港区

● 実行団体 「NPO法人くるみー来未」 ニュースレター

KURUMI
LETTER

Vol.16

発行日

2020.11.1

(5) 3/23 認定NPO法人まちぽとPecs選考会

前年12月のカワサキコネクトで懇意になったファンドレイザーの方から「休眠預金を活用した助成金」の情報をいただいたのは年末のこと。居場所立ち上げ後の運営資金不足に直面していたくるみにとって、まさに今ドンピシャで必要な助成金！募集要項を熟読しても我々の事業は十分対象になりそう。早速申請準備に入ることに。

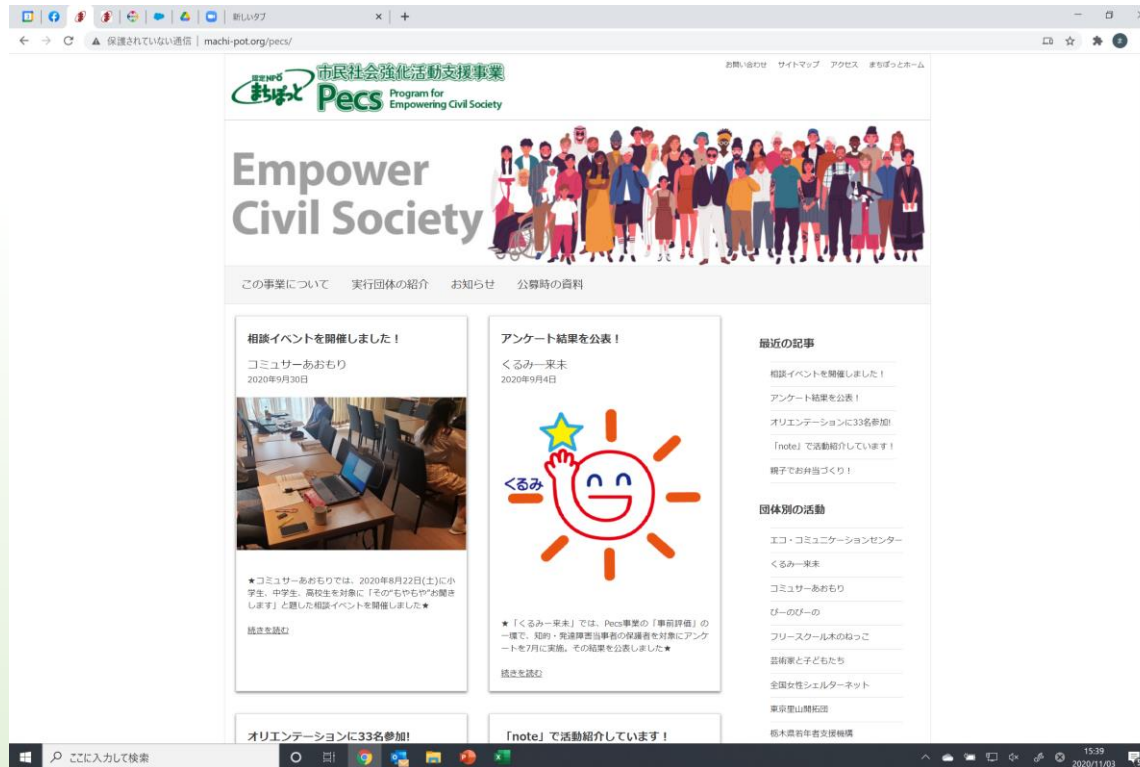
申請書はこれまでチャレンジしたどの助成金プログラムより複雑かつ難解なものでした。理事会での議論とファンドレイザーのアドバイスにより何とか期限内に書き上げて提出。一次選考は無事通過の連絡が来て、ホッ。二次選考はプレゼン選考会。これも資料を推敲して作り、何度もプレゼン練習。「くるみのおうち」を中心に今後地域に向けて事業展開していく内容でプレゼンし、無事助成先に選定されました(^o^)v。

助成金額は200万円×3年=600万円。この金額に見合った社会的インパクトを生み出していきたいと思ひます。みなさん引き続きお力をお貸しください。



●WEBサイト

http://machi-pot.org/pecs/



ご清聴ありがとうございました